



地域支援だより そよかぜ



新しい年度がスタートし、それぞれの環境にも慣れてきた頃でしょうか。

昨年度中は、本校の教育活動にご支援を賜り、ありがとうございました。本年度も「そよかぜ相談」や「研修会」等をとおして、地域の皆様や子どもたち・先生方のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

1 平成30年度支援部員の紹介

今年度の支援部は7名で活動いたします。相談の内容によって、適切な人員を充て、対応させていただきます。

- ・支援部長：小野寺由紀
- ・小学部：松井かおり（副部長）、小野寺淳子、後藤いづみ
- ・中学部：千葉きよみ
- ・高等部：熊谷恵子、遠藤真世

以上のメンバーで、校内の支援と地域の支援に取り組んでいきます。



2 支援部の主な活動について

◎教育相談 「そよかぜ相談」の名称で活動しています。子どもの生活や学習の場面で、気になることについて一緒に考えていきます。

◎情報提供 特別支援教育や本校の教育に係わる情報をお知らせいたします。

◎研修会等 研修会等のご案内をいたします。詳しくは裏面をご覧ください。

*平成30年8月20日、本校を会場に専門性向上研修会が行われます。

内容については裏面をご覧ください。ホームページにもアップしています。

ホームページアドレス <http://www.hakuyo.myswan.ne.jp>

◎その他 主にセンター的機能の充実に関わる事業を行っています。

- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の様式の提供
- ・居住地校学習推進事業
- ・学校見学会の実施(本年度は平成30年6月7日です。)
- ・本校プラネタリウムの公開 等



3 「そよかぜ相談」の方法

◎まずは、「そよかぜ相談お願いします。」と電話をお掛けください。

○幼稚園、保育所、学校等に出向いたり、本校に来校していただいたりして、先生方や保護者の方の相談に応じます。

○お子さんの学習の様子を参観し、支援方法等について一緒に考えたり、教材・教具を紹介したりします。

○必要に応じて医療機関や福祉施設等を紹介します。

○諸検査のうち、WISC-IVは本校では実施できません。ご希望の場合は、専門機関でお願いします。

※その他の検査につきましても、支援方法を検討するにあたり、検査が必要であるところから判断した場合のみ、実施いたします。

⇒裏面に続く

◇◇◇平成30年度 研修会等予定◇◇◇

特別支援教育総合推進事業専門性向上研修会

研修テーマ：「障害のある児童生徒の思春期における支援の実際」
講師：宮城県総合教育センター 指導主事 大槻 綾 氏
日時：平成30年 8月20日（月）受付9：30 10：00～12：00
会場：登米市迫公民館 大会議室
対象：幼、保、小、中、高等学校教職員、保健師、福祉施設等職員

特別支援教育総合推進事業インクルーシブ理解研修会

主催：宮城県教育庁特別支援教育課
対象：母子保健及び保育に関わる機関の職員、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員並びに保健福祉事務所及び教育事務所、市町村教育委員会に関わる職員等

<第1回>

研修テーマ：「合理的配慮の提供の実際」
講師：東北大学大学院 教授 野口 和人 氏
日時：7月27日（金）受付9：30 10：00～15：00
会場：南三陸ベイサイドアリーナ（南三陸町）

<第2回>

研修テーマ：「ユニバーサルデザインの視点による授業づくり」
講師：宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 氏東
日時：10月22日（月）受付13：30 14：00～16：30
会場：宮城県登米合同庁舎（登米市）

* 迫支援学校のホームページにアップします。
お申込みは迫支援学校までお願いします。

